

仕様書		業務名 固定資産税(償却資産)	プログラム名(内部整理用) DBZO(種類別明細書(増加資産用・全資産用))	作成期限	
※コマンドトークンス名	※バッチプロテクション	作成者 法人課	作成年月日 R7.12.22	No. 1 / 3	
原票名		※スタンダードジョブ名		※バッチ名	
種類別明細書(増加・全資産用)					
(一般申告の場合)					
1 パンチ区分 外部ファイル設計書のとおり 種類別明細書に記載されたパンチ区分のデータを作成する。 ・帳票コードに記載されている「3」を入力する。			1. OUTPUT DEVICE CD-RW(正副)		
2 区コード 外部ファイル設計書のとおり 種類別明細書の「区コード」欄に記載された区コードを以下の通り変換のうえ、区コードのデータを作成する。			2. RECORD SIZE 135 BYTE		
記載内容 変換後 ・ 1 → 01(中央区) ・ 2 → 02(花見川区) ・ 3 → 03(稲毛区) ・ 4 → 04(若葉区) ・ 5 → 05(緑区) ・ 6 → 06(美浜区)			3. FILE NAME 更正増加・全資産用明細パンチデータ		
区コードが、上記のコード以外または種類別明細書に付随する帳票DACO(償却資産申告書(一般・電算))で入力した区コードと異なる場合は、その箇所を蛍光マーカーで着色のうえ種類別明細書に付箋を貼付し、当該資産のみデータ作成を行わず、不作成リストを作成する。 区コードが無記入の場合は、種類別明細書に付随する帳票DACO(償却資産申告書(一般・電算))で入力した区コードを採番すること。			不作成リストとは、パンチデータを作成しない帳票関する以下の項目を表示したリストである。 ①項番 ②帳票コード ③宛名番号(DACOの番号を記載) ④エラー項目名 当該リストは、一般分(DACOとDBZO、DBG0)と電算分(DACOとDADO)を別に作成し、excel形式で作成すること。		

仕様書		業務名 固定資産税(償却資産)	プログラム名(内部整理用) DBZO(種類別明細書(増加資産用・全資産用))	作成期限	
※コマンドトークンス名	※バッチプロテクション	作成者 法人課	作成年月日 R7.12.22	No.	2 / 3
原票名		※スタンダードジョブ名		※バッチ名	
種類別明細書(増加・全資産用)					
(一般申告の場合)					
<div><div><div>7 資産名称</div><div>外部ファイル設計書のとおりに 種類別明細書の「資産の名称等」欄に記載された内容のデータを作成する。 「資産の名称等」に記載された文字で判別できないものがある場合は、その箇所を蛍光マーカーで着色のうえ種類別明細書に付箋を貼付し、該当の文字のみスペース等でデータを作成のうえ、不作成リストを作成する。 「資産の名称等」に記載された文字の全てが判別できない場合または無記入の場合は、その箇所を蛍光マーカーで着色のうえ種類別明細書に付箋を貼付し、当該資産のみデータ作成を行わず、不作成リストを作成する。</div></div><div><div>8 数量</div><div>外部ファイル設計書のとおりに 種類別明細書の「数量」欄に記載された数量のデータを作成する。 種類別明細書に記載された数量を以下の通り処理し、データ作成すること。 ・数量が1桁の場合 → 先頭に「00」を追加する。 ・数量が2桁の場合 → 先頭に「0」を追加する。 ・数量が3桁の場合 → 記載内容をそのままで作成する。 ・数量が4桁以上の場合 → 「001」で作成する。 ・数量が無記入の場合 → 「001」で作成する。</div></div></div> <div>スペース等:「」や「」など</div>					

処 理 条 件	9 取得年月	
	外部ファイル設計書のとおり	
	種類別明細書の「取得年月」欄に記載された取得年月日を算用数字5桁（年号1桁、	
	年2桁、月2桁）でデータを作成する。	
	（例） 記載内容	作成内容
	年号:5 年:8 月:2 →	50802
	以下に示すような記載の場合は変換し、データを作成すること。	
	年号は、以下の通り変換すること。	
	<ul style="list-style-type: none">・ 明治(M) → 「1」に変換する。・ 大正(T) → 「2」に変換する。・ 昭和(S) → 「3」に変換する。・ 平成(H) → 「4」に変換する。・ 令和(R) → 「5」に変換する。	
	（例） 記載内容	変換後

・H31年4月	→	43104
・令和1年5月、令和元年5月	→	50105
・2020年5月	→	50205

取得年月の項目（年号、年、月）のいずれかが無記入の場合は、その箇所を蛍光マーカーで着色のうえ種類別明細書に付箋を貼付し、当該資産のみデータ作成を行わず、不作成リストを作成する。

取得年月の項目のうち「月」に13以上の数字が記載されている場合は、その箇所を蛍光マーカーで着色のうえ種類別明細書に付箋を貼付し、当該資産のみデータ作成を行わず、不作成リストを作成する。

取得年月の項目を以下の例に示すとおり変換しデータ作成を行った場合は、その箇所を蛍光マーカーで着色のうえ種類別明細書に付箋を貼付し、不作成リストを作成する。

（例） 記載内容	変換後
・令和1年4月、令和元年4月	→ 43104
・平成31年5月	→ 50105

仕様書		業務名 固定資産税(償却資産)	プログラム名(内部整理用) DBZO(種類別明細書(増加資産用・全資産用))	作成期限	
※コマンドトークンス名	※バッチプロテクション	作成者 法人課	作成年月日 R7.12.22	No.	3 / 3
原票名		※スタンダードジョブ名		※バッチ名	
種類別明細書(増加・全資産用)					
(一般申告の場合)					
<div>10 取得価額</div> <div>外部ファイル設計書のとおり</div> <div>種類別明細書の「取得価額」欄に記載された取得価額のデータを作成する。</div> <div>取得価額に記載された金額にマイナス符号が記載されている場合または無記入の場合は、その箇所を蛍光マーカーで着色のうえ種類別明細書に付箋を貼付し、当該資産のみデータ作成を行わず、不作成リストを作成する。</div> <div>11 耐用年数</div> <div>外部ファイル設計書のとおり</div> <div>種類別明細書の「耐用年数」欄に記載された耐用年数のデータを作成する。</div> <div>耐用年数に記載された内容が「1」もしくは無記入の場合は、その箇所を蛍光マーカーで着色のうえ種類別明細書に付箋を貼付し、当該資産のみデータ作成を行わず、不作成リストを作成する。</div> <div>12 特例コード</div> <div>外部ファイル設計書のとおり</div> <div>種類別明細書の「課税標準の特例」欄に記載された内容を以下の通りデータを作成する。</div> <div>・「コード」欄が無記入の場合は、「000」を入力する。</div> <div>「課税標準の特例」の項目「率」及び「コード」欄に数字が記載されている場合は、その箇所を蛍光マーカーで着色のうえ種類別明細書に付箋を貼付し、当該資産のみデータ作成を行わず、不作成リストを作成する。</div>					

処
理
条
件

13 増加事由
外部ファイル設計書のとおり
種類別明細書の「増加事由」欄に記載された増加事由のデータを作成する。
以下に示すような記載の場合は変換し、データを作成すること。
・ 無記入の場合 → 「4」に変換する。
・ 複数のコードが記載されている → もっとも小さい値で入力する。